

食育事業取組報告書(藤塚小学校)

食育活動区分		(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	令和6年5月～12月
教科名		学活・家庭科	指導者	
単元名		「全校 弁当の日」に向けて		
ねらい		・児童が弁当作りにかかわることで、食生活や健康への興味・関心を高める。 ・弁当の献立作成や調理を通して、食や家族への感謝の気持ちを養う。 ・6年生は、一人で弁当を作ることができる。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点		資料
◇保護者に向けて、取り組みの説明と協力をお願いをした。		・「弁当の日」の取組は、家庭の協力が必要であるため、学年だよりでも取組の趣旨を伝え、協力を依頼した。		
◇6月～12月にかけて、各学年で、食育指導を行った。 1年生 食育出前講座「やさいはかせになろう」 2年生 食育出前講座「おいしそうな弁当を作ろう」 3年生 食育出前講座「大豆の変身」 4年生 食育出前講座「食べ物の3つのはたらきを知ろう」 5年生 食育出前講座「しっかり食べよう成長期」 6年生 食育出前講座「お・い・し・そ・う・な弁当を作ろう」				3年生 食育出前講座 「大豆の変身」の様子
◇12月16日(月)「全校 弁当の日」実施 ・工夫したことや頑張ったこと、感想を書いた。 ・互いの弁当を見合いながら、会食した。		6年生 食育出前講座 「お・い・し・そ・う・な弁当を作ろう」の様子		
成果と課題	○「全校 弁当の日」の取組が4年目になり、児童の弁当作りに対する興味・関心が高まってきた。 ○弁当作りについて頑張ったことや感想を書き、保護者に読んでもらった。 ○弁当作りを通して、彩りや味付け、栄養のバランスの大切さを学ぶと同時に、家族への感謝の気持ちをもつ機会となった。 △家庭環境に違いがあるため、弁当の中身を気にする児童がいないように配慮する必要がある。(弁当の写真の掲示は行わなかった。)			
家庭・地域との連携	○親子や兄弟・姉妹と一緒に弁当作りにかかわることを通して、家族で触れ合うよい機会となった。 ○「家で卵焼きを作れるようになった。」「栄養バランスと彩りを考えて作ることができた。」など食に対する関心にもつながっている。			